

科目名	クリニカルケーススタディ			ナンバリング	561060	授業形態	講義
対象学年	5 年	開講時期	通年	科目分類	選択	単位数	2 単位
代表教員	福地祐司	担当教員	○福地祐司、村田 亮、○吉川真一、○住谷賢治、○永田隆之、石川暁志、飯塚康人				

授業の概要	将来、薬剤師としての実践力を高めるために、実際の症例に準じた模擬症例 (clinical case)を通して、主要な疾患の病態生理、診断、治療(とくに薬物治療)、転帰を学習して、問題抽出・解決能力を身につける。						
到達目標	1 主要な疾患について、病態生理学的特徴を説明できる。 2 主要な疾患について、診断基準や転帰について説明できる。 3 主要な疾患について、その治療法、特に薬物治療について説明できる。						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な 予備知識など)	各疾患の基本的な治療法については必ず予習しておくこと。						
ディプロマポリシーとの 関連	【薬学部薬学科のディプロマポリシー】						
		1. 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。					
	○	2. 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。					
	○	3. 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。					
		4. 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。					
	○	5. 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
1. それぞれの疾患について、病態、薬物治療、副作用などが説明できる。 2. レポートは毎回提出している。	1. それぞれの疾患について、病態、薬物治療、副作用などが説明でき、症例についても問題点を発見できる。 2. レポートは講義内容を正しく理解して上で論理的にまとめられている。

成績評価観点 評価方法	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	評価割合
定期試験(中間・期末試験)	○	○					60%
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート	○	○			○		40%
授業態度・授業への参加							

課題、評価のフィードバック	1 最終成績が60点未満の学生には、学習指導した後、再試験を受けさせる。 2 解答用紙は、学生から要請があればいつでも開示する。
---------------	---

授業計画	回次	テーマ	授業内容	備考
	第1回	健診で高血圧を指摘された症例 (担当: 吉川真一)	高血圧の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 E2-(3)-①-4
	第2回	動悸を主訴とする症例 (担当: 永田隆之)	不整脈の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(3)-①-1
	第3回	息切れを主訴とする症例 (担当: 永田隆之)	心不全の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(3)-①-2
	第4回	胸痛を主訴とする症例 (担当: 永田隆之)	虚血性心疾患の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(3)-①-3
	第5回	健診で糖尿を指摘された症例 (担当: 住谷賢治)	糖尿病の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(5)-①-1
	第6回	健診で高脂血症を指摘された症例 (担当: 住谷賢治)	高脂血症の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(5)-①-2
	第7回	発汗を主訴とする症例 (担当: 住谷賢治)	甲状腺機能亢進症の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(5)-②-2
	第8回	母趾の疼痛を主訴とする症例 (担当: 吉川真一)	痛風の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(5)-③-3
	第9回	関節痛を主訴とする症例① (担当: 永田隆之)	関節リウマチの病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(2)-③-1
	第10回	関節痛を主訴とする症例② (担当: 永田隆之)	全身性エリテマトーデスの病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(2)-②-8
	第11回	腹痛を主訴とする症例 (担当: 吉川真一)	消化性潰瘍の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(4)-②-1
	第12回	下痢を主訴とする症例 (担当: 新採用の教員)	炎症性腸疾患の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(4)-②-2,7
	第13回	黄疸を主訴とする症例 (担当: 住谷賢治)	肝炎の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(4)-②-3
	第14回	皮膚炎を主訴とする症例 (担当: 村田 亮)	アトピー性皮膚炎の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(6)-③-1
	第15回	意識消失を主訴とする症例 (担当: 石川暁志)	てんかんの病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(1)-③-7
	試験			

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第16回	歩行障害を主訴とする症例 (担当: 福地祐司)	パーキンソン病の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(1)-③-9
	第17回	不眠を主訴とする症例 (担当: 林 正彦)	睡眠障害の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:独自
	第18回	精神の異常が認められる症例①,② (担当: 林 正彦)	双極性障害、統合失調症の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(1)-③-4,5
	第19回	認知障害が認められる症例 (担当: 村田 亮)	アルツハイマー型認知症の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(1)-③-10
	第20回	呼吸困難を主訴とする症例① (担当: 新採用の教員)	気管支喘息の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(4)-①-1
	第21回	呼吸困難を主訴とする症例② (担当: 新採用の教員)	慢性閉塞性肺疾患(COPD)の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(4)-①-2
	第22回	貧血を主訴とする症例 (担当: 福地祐司)	貧血、白血病の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(3)-②-3
	第23回	視力障害を主訴とする症例 (担当: 村田 亮)	白内障、緑内障の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(6)-①-1,2
	第24回	浮腫を主訴とする症例 (担当: 福地祐司)	ネフローゼ症候群の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(3)-③-3
	第25回	透析導入を予定している症例 (担当: 石川暁志)	腎不全の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(3)-③-2
	第26回	排尿困難を主訴とする症例 (担当: 住谷賢治)	前立腺肥大症の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(3)-③-6
	第27回	腰痛を主訴とする症例 (担当: 吉田 進)	骨粗しょう症の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(2)-③-2
	第28回	健診で癌を疑われた症例①,② (担当: 福地祐司)	胃癌、大腸癌の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(7)-⑧-8
	第29回	健診で癌を疑われた症例③ (担当: 福地祐司)	肺癌の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(7)-⑧-9
	第30回	健診で癌を疑われた症例④,⑤ (担当: 福地祐司)	乳癌、子宮癌の病態生理と薬物治療(理論と実践方法)について、模擬症例をもちいた症例検討を行う。	SBO:C14～C15に包括される。 SBO:E2-(7)-⑧-11,13
	試験	全講義終了後に期末試験を実施する。		
授業の進め方		教科書の症例に基づき、患者や医師、看護師からの質問に対してどのように答えるべきかをディスカッションを通して検討する。		
授業外学習の指示		【予習】講義で使用するスライド資料は、「manaba@IMU」からダウンロードできるので、予定されている疾患について予習しておくこと(60分) 【復習】与えられた課題のレポートを作成する。PDFファイル化したレポートの提出は「manaba@IMU」を利用して行うこと(30分) (授業外学習時間: 毎週 90 分)		

教科書	シナリオ 症例解析 第2版 高山 明 総編集、京都廣川書店、5,200円(税別)、ISBN 978-4-906992-43-0
参考書	薬物治療学 第7版 吉尾隆 編、南山堂、8,800円(税別)、ISBN978-4-525-72057-5
参考URLなど	
その他	薬剤師として求められる基本的資質(⑥薬物療法における実践的能力):薬物療法を総合的に評価し、安全で有効な医薬品の使用を推進するために、医薬品を供給し、調剤、服薬指導、処方設計の提案等の薬学的管理を実践する能力を有する。 アドバンスト:00% 準備教育:00% 大学独自:5%